

# 平成22年度 事業計画概要

- 平成22年度の飯豊山系砂防事務所の事業計画がまとまりましたのでお知らせ致します。
- 「安全・安心な地域づくり」、「中山間地域の孤立化対策」、「地域活性化の支援」、「自然環境との調和」を基本整備方針として、平成22年度は予算配分額1,503.7百万円※により、事業を実施します。

※業務取扱費を除く。

## 【平成22年度事業のポイント】

◎平成22年度は、13箇所(うち新規着手1箇所、完成予定3箇所)において、砂防施設の整備を推進し、下流域沿川地域の土砂災害に対する安全度の向上を図るとともに、人家・公共施設に対する直接的な土砂(土石流)災害を防止します。

◎主要事業箇所(平成22年完成予定)の概要

### 【女川第4号砂防堰堤(新潟県・関川村)】

地質が脆弱で多くの崩壊地が存在するなど、土砂流出の著しい女川において、女川第4号砂防堰堤を完成させ、女川流域の土砂流出による被害を防ぐとともに、下流域の洪水はん濫被害を軽減します。

### 【入山第2号砂防堰堤(山形県・小国町)】

平成16年7月に土石流が発生し、不安定土砂が大量に堆積する越沢川において、入山第2号砂防堰堤を完成させ、保全対象である小国町舟渡地区を土石流による直接的な被害から守るとともに、下流域の洪水氾濫被害を軽減します。

## 平成22年4月



## 飯豊山系砂防事務所

## 1. 平成22年度 事業費

(百万円)

事業区分	平成22年度 当初(A)※	平成21年度 当初(B)※	昨年度比 (A/B)
直轄砂防事業費	1,503.700	1,540.651	0.98

※業務取扱費を除く。

## 2. 平成22年度 事業箇所数

<水系別>

河川名	実施箇所数		
	継続	新規	計
荒川	7	1	8
胎内川	1	0	1
加治川	4	0	4
合計	12	1	13

<県別>

県名	実施箇所数		
	継続	新規	計
山形県	5	1	6
新潟県	7	0	7
合計	12	1	13

<市町村別>

市町村名	実施箇所数		
	継続	新規	計
小国町	5	1	6
関川村	2	0	2
胎内市	2	0	2
新発田市	3	0	3
合計	12	1	13

### 3. 平成22年度 事業箇所

番号	河川名	溪流名	所在地	箇所名
1	荒川	出戸沢	山形県西置賜郡小国町大字出戸地先	<small>でとざわ</small> 出戸沢砂防堰堤
2	荒川	越沢川	山形県西置賜郡小国町大字舟渡地先	<small>いりやま</small> 入山第2号砂防堰堤
3	荒川	枯松沢	山形県西置賜郡小国町大字沼沢地先	<small>かれまつさわ</small> 枯松沢砂防堰堤
4	荒川	中ノ俣川	山形県西置賜郡小国町大字小玉川地先	<small>なかのまたがわ</small> 中ノ俣川砂防堰堤
5	荒川	弥五沢	山形県西置賜郡小国町大字伊佐領地先	<small>やごさわ</small> 弥五沢砂防堰堤
6	荒川	小坂町沢	山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町地先	<small>こさかまちさわ</small> 小坂町沢砂防堰堤
7	荒川	家ノ前沢	新潟県岩船郡関川村大字安角地先	<small>いえのまえさわ</small> 家ノ前沢砂防堰堤
8	荒川	女川	新潟県岩船郡関川村大字小和田地先	<small>おんながわ</small> 女川第4号砂防堰堤
9	胎内川	下赤谷	新潟県胎内市下赤谷地先	<small>しもあかだに</small> 下赤谷砂防堰堤
10	加治川	谷地川	新潟県胎内市谷地地先	<small>やち</small> 谷地砂防堰堤群
11	加治川	滝谷沢	新潟県新発田市上荒沢地先	<small>かみあらさわ</small> 上荒沢砂防堰堤群
12	加治川	柿ノ木沢	新潟県新発田市横山地先	<small>かきのきさわ</small> 柿ノ木沢砂防堰堤
13	加治川	滝谷川	新潟県新発田市滝谷地先	<small>たきだに</small> 滝谷砂防堰堤群

#### 4. 平成22年度 事業箇所位置図

飯豊山系砂防管内図



凡 例	
H22年度 新規箇所	
H22年度 継続箇所	
H22年度 完成予定箇所	

#### 【山形県】

1. 出戸沢砂防堰堤
2. 入山第2号砂防堰堤
3. 枯松砂防堰堤
4. 中ノ俣川砂防堰堤
5. 弥五沢砂防堰堤
6. 小坂町沢砂防堰堤

#### 【新潟県】

7. 家ノ前沢砂防堰堤
8. 女川第4号砂防堰堤
9. 下赤谷砂防堰堤
10. 谷地砂防堰堤群
11. 上荒沢砂防堰堤群
12. 柿ノ木沢砂防堰堤
13. 滝谷砂防堰堤群

【安全・安心】（新規・**完成**・主要）事業箇所（直轄・補助）事業

おんながわ えん  
**女川第4号砂防堰堤の完成**  
にいがた せきかわ  
新潟県関川村

**事業の概要**

飯豊山系における直轄砂防事業は昭和42年8月28日に発生した羽越水害（死者・行方不明者90人、家屋被害11,095戸：荒川水系）を契機に、直轄砂防事業を実施しています。

当該地域は、地質が脆弱で多くの崩壊地が存在する土砂流出の著しい河川です。荒川水系の下流に位置する関川村では、平成16年7月豪雨において村内全域に避難勧告が出されるなど、土砂災害の危険性がいまだに高い状況にあるため、上流域の支溪流に砂防堰堤などの施設を整備することで、下流域に位置する市街地を洪水はん濫から保全するとともに、土石流による直接的な被害を防ぐことを目的としています。

**整備効果**

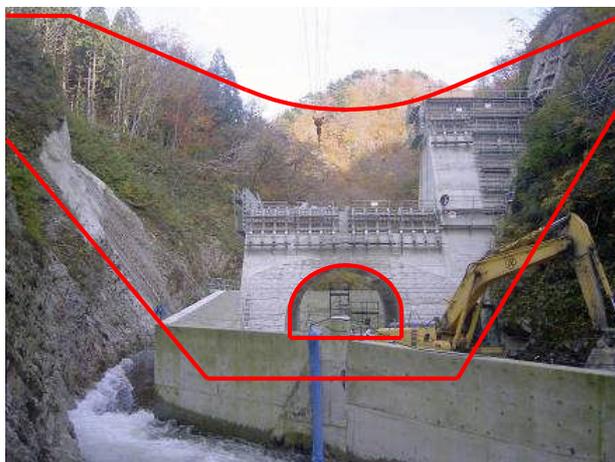
女川流域の土砂流出による被害を防ぐとともに、下流域の洪水はん濫被害を軽減します。

**事業着手**

平成4年

**平成22年度の事業内容**

砂防堰堤の整備を完成させます。



位置図



工事状況（H21年11月撮影）

【安全・安心】（新規・**完成**・主要）事業箇所（直轄・補助）事業

いりやま  
**入山第2号砂防堰堤の完成**  
やまがた おぐに  
山形県小国町

**事業の概要**

飯豊山系における直轄砂防事業は昭和42年8月28日に発生した羽越水害（死者・行方不明者90人、家屋被害11,095戸：荒川水系）を契機に、直轄砂防事業を実施しています。

当該地域は、地質が脆弱で土砂災害の危険性が高い地域であり、平成16年7月豪雨では、下流の砂防えん堤は土石流の発生により一気に土砂が堆積しました。

このため本溪流の上流域には不安定土砂が大量に堆積するなど、集中豪雨等によって保全対象に被害を与える恐れがあることから、上流域の支溪流に砂防堰堤を整備します。

**整備効果**

保全対象である舟渡地区を土石流による直接的な被害から守るとともに、下流域に位置する市町村を洪水はん濫から保全します。

**事業着手**

平成20年度

**平成22年度の事業内容**

砂防堰堤の整備を完成させます。

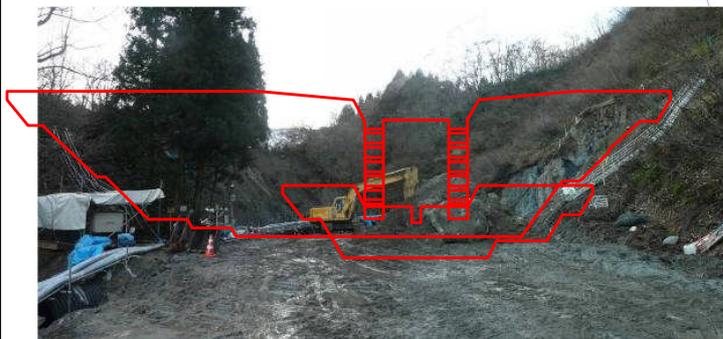


写真-施工箇所



位置図



写真-流域概要